



こんにちは

白子の議会

です

第110号

平成25年11月1日

編集発行
千葉県白子町議会
☎0475(33)2169



▲ 3保育所合同運動会

第3回 定例会

平成25年第3回定例会が9月18日開催されました。
一般質問は、4名の議員が町政をただしました。



- 4議員が一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2～5ページ
- 条例改正・補正予算の質疑応答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6ページ
- 行政視察研修報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7ページ
- こんなことが決まりました・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8ページ

一般質問

町政をきく

人口減少社会における 町の基本計画について

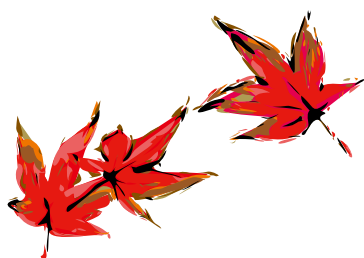
宗島 理仁 議員

議員 平成12年から町の人口が減少している中で、後期基本計画では緩やかな人口増加を目標としている。その根拠となる施策とその実績について伺います。

実効性の高い重点施策の充実を図る

町長 24年度に策定した基本計画の重点施策として、人口の受け入れや定住の促進のための支援充実を掲げて、総合的に取り組んでいます。

子育て支援の充実、若者マイホーム取得奨励事業等、実効性の高い施策の充実を図っています。



避難訓練について

議員 避難訓練について、薄れゆく防災意識を喚起しつつ、どのように参加者を確保していくのか伺います。

昨年の反省を踏まえ

町長 昨年の参加者アンケートを踏まえ、新しく自動車による避難訓練も含めて、できる範囲の改善を図っていきます。

避難訓練を通じ、災害時における減災と防災意識の高揚を図っていきます。

観光振興について

議員 るるぶ白子や着地型旅行商品等々、様々な観光振興策について、どのような反響があったのか。また、その成果や実績を踏まえ、今後発展さ

せていくのか伺います。

成長産業に するために

町長 観光施策については「るるぶ白子」以外にも季節ごとのイベント情報を提供する「白子なう」さらに、ラジオ放送でも観光PRをしております。

4月に開通した圏央道絡みのPR、これも木更津の海はたる、あるいは横浜でのPR活動を重ねております。

その中で「るるぶ白子」はゴールデンウィークには3万部の配布が終了し、その後、追加で3万部増刷して、現在配布をしているところであります。

ラジオのCMも一定の効果があったと思っています。

ただ、着地型の旅行については、結果が出ていないということで、もう少し工夫しなければいけないと思っています。

南白亀川堤防沿いの桜並木について

議員 堤防沿いの桜並木の管理があまり行き届いていないが、誰が管理を行っているのか。また、堤防の補強、かさ上げが行われる際、この桜並木は守られ、整備される予定があるのか伺います。

景観づくりを力を

町長 桜並木の管理はあまり行き届いていないのが現状であり今後、もう少し徹底したいと思っております。

堤防のかさ上げに際し、移植される桜並木の箇所等については、新たな景観づくりを今後検討していきます。



南白亀川堤防

防災対策について

板倉 正道 議員

議員 南白亀川の津波対策について「兩岸のかさ上げ」についての事前説明会が、6月に関係自治

会対象に行われたようですが、災害は白子町全体の問題です。

全町民対象に説明会を行う必要があると思いますが、見解を伺います。

必要であれば

町長 東日本大震災の津波の被害以降、県の減災対策として九十九里の海岸部は砂丘の盛り土、いわゆる土塁、南白亀川は堤防の補強、かさ上げが計画されています。

すでに南白亀川沿岸の5自治会等、あるいは漁業協同組合には概要を説明いたしました。

説明会を行いました。が、質問等あまりありませんでしたので、町全体に説明する必要があるのか、必要であるなら資料

もありませんし、県も出向いてくれます。

後日、自治会長会議で諮ってみます。

自主防災組織の立ち上げに対する助成の考えは

議員 大地震や大災害から自分や家族の命を守るためには、様々な災害発生に備え、普段から十分な対応が必要です。ひと

たび災害が発生すると個人や家族の力だけでは限界があり、危険や困難を伴います。

隣近所が協力し合い、防災活動に組織的に取り組む必要があると思います。

普段から災害時に支援が必要な人がどこに居るのかを把握し、地域ぐるみで助け合える体制を整えるべきと考えます。

災害時、救出活動を始めてくれるのは誰でしょう。

震災のような広域災害では警察や消防署、全ての現場に向かうには限りがあります。何よりも近所の人たちの協力を待つしかありません。だからこそ自主防災組織の立ち上げは必要です。

郡内町村は、白子町以外で助成要綱実施済みです。

町は助成の考えがあるのか伺います。

効果が上がるなら考えます

町長 災害を最小限に抑えるには自助、共助、公助の連携が必要です。

自分たちで地域を守る、隣近所が一番大切です。

現在、自主防災組織立ち上げは11自治区です。で、既存の組織の活動で、踏まえながら具体的な検証をし、効果が上がるようであれば考えます。



「地籍調査事業」の①進捗状況について

議員 平成24年度より10年間、総事業費11億6千9百万円をかけての地籍調査事業が始まりました。

当初の説明会では、年度ごとの処理との説明がありました。が、進捗状況を伺います。

初めての取り組みのため

町長 24年度から事業を開始しましたが、所有者との立会い日程の調整、あるいは宅地周りのややこしい境界、また土地改良事業の換地後の農地の不具合等も重なり遅れているのも事実です。

当初の工程表では25年10月完了でしたが、10月公示閲覧、26年3月までに完了させたいと考えます。



②問題点について

議員 初年度は、関東区の一部と関北区の一部、1・75平方キロメートルが調査範囲ですが、随所に問題が生じております。

問題点、また解決策を伺います。

問題もあるがやり遂げる覚悟

町長 地籍調査の最大のメリットは、自分の負担が無く境界を決められることです。

又、公図とかい離して決めてられない所、本来このような箇所を決めるのが目的ですので、地権者の理解をいただきます。ちなみに境界の確定できなかったものが、初年度で10%程度と聞いております。

子育て支援における行政の対応は

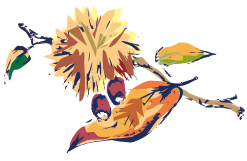
東海林 東治 議員

議員 千葉県下の多数の町村では、中学三年生まで入院・通院の助成制度が実施されています。

しかし、白子町を含めた二町だけが小学三年生までの通院医療費助成の実施状況です。同じ学校生活圏の中にいて、学年により隔たりがある事是不公平感を生み出します。対象に含まれていない子供への助成を実施できないことについて伺います。

体調管理は親の責任

町長 子供の年齢対象が拡大すると医者頼りになり、子供の様子・体調を判断する力を親が失っていきまます。健康管理、予防は、親の責任です。と思います。

チーパス協力店の
の実態について

議員 千葉県では、妊婦から中学三年生までの子育てを応援するためチーパス事業を実施しています。協力店は5%～10%のサービスを提供し、子育て環境と経済的・物理的支援を図る体制の整備で対応しています。本町をみると、地元協力店の推進が希薄であります。今後、どう協力店の推進を図るか伺います。



チーパスカード

周知徹底を図る

町長 私も内容について理解不足の点がありました。調べて見ますと飲食業1店とホテル3軒だけ

の登録でありました。全体的に本制度の周知が不足していると思いますので今後、存在等を含め周知していきます。

通学路の危険箇所
その後の状況は

議員 昨年8月通学路の危険箇所点検の結果、23ヶ所あった地点について対策済み3ヶ所、予定箇所11ヶ所、未定箇所9ヶ所ありましたが、その後の状況を伺います。



整備された通学路

計画的に実施

町長 残りの部分は計画的に進めております。信号機の設置は難しく、学校で登下校の安全指導を実施しています。

学童保育指導員
研修について

議員 子育て支援の一環として学童保育指導員の研修の充実が必要と思うが、資質向上を図る対策がなされておりません。今後の対策について伺います。

行政は後方支援で

町長 白子の形態は自主的運営をしており、型に填らず、皆で話し合ってやっております。教師のOBも指導員になっており相応に経験と知識を持っておりますので大丈夫だと思います。行政が介入するより後方から支援していく状態がよい形で運営されていくと思います。

行政における
ブライダル対策は

議員 近年の少子化の要因としての晩婚・未婚化に歯止めと若者定住化促進対策に商工会青年部、農協青年部、消防団員

等々の個々での推進でなく行政が結婚サポートをし、多角的に支援体制を講じる必要があると思いますが伺います。

自主性に任せる

町長 平成19年から10回程婚活パーティーを開催しています。行政が、介入する事は難しいので自主性に任せ支援は行っています。

生活相談窓口開設を

議員 町民が心豊かな生活を送れるよう、なんでも聞き入れる窓口の開設を求めていることについて伺います。

総務課で対応

町長 生活相談窓口は現在総務課で対応しています。



どこまですすんだ防災対策

市川 隆子 議員

議員 津波は内陸側への避難が基本になります

が避難が遅れたり、困難な方は近くに一時避難場所が必要になると思います。住民の安全確保のために、高い建物のない地域での避難施設整備をどのようにすすめるのか伺います。

日常的に

活用できる施設を

町長 いろいろな施設を見て、安心してもらえ、日常的に活用できるような施設を考えたいと思っています。

現在は、避難道路を優先して整備しているところ

自主防災組織の

すすめ方は

議員 災害のときは、自主防災組織がかなめになると思います。組織をつくったり活動を続けていくためには中心になって

活動を担う人材をどのようにつくるかが鍵になると思います。

町が積極的に情報提供をしたり、専門知識を持った人の話を聞く場をつくったりして、住民の後押しをしていくような啓発も必要ではないかと思いますが考えを伺います。

リーダー養成が大事

町長 何よりもリーダーを養成することが大事だと思います。町も設置のお願いだけでなくモデルを示したり様々な提案はしていますが、リーダーの不在など、そういう機運にならないなどの理由で32自治区の内11自治区だけとなっています。

通学路の安全対策は

議員 町民サッカー場脇の県道交差点は、今も危

険な状況のままになっています。この間、交差点での事故もありました。白子バイパスの予定地ではありますが、その間の安全対策をどのようにすすめるのか伺います。

白子中独自の

横断方法で

町長 県道一宮片貝線と町道が交差しているところは、交通量が多く、横断歩道は設置されていますが、信号機があってもいいようなところです。

白子中では、独自の交差点の通行方法があり、自転車から降りて安全を確認して押して渡る方法をとっています。教師・保護者による安全指導、今年から地元自治会の有志の皆さんが毎朝、ボランティアで安全指導や見守りをして下さっています。

教育長 中学生の通学の安全管理は、自転車の乗り方が大きくかわってきますので、安全施設整備も含め、計画的な交通

指導が不可欠だと思います。PTAや地元自治会を含めた地域の方々の協力を得ながら、通学の安全確保をしていきたいと考えています。

カラー歩道設置と

防犯灯増設を

議員 カラー歩道については2度目の質問ですが、通学路の安全対策は、交通量の多さには関係なく安全に歩ける場所が必要で、町ではカラー歩道を実施するとしています。また、場所を伺います。

また、防犯灯については、通学路が暗くて危険だという声もある中で増設の予定を伺います。

効果的な設置

増設を進める

町長 カラー歩道の計画は、北高根大村公民館脇から関小学校へ向う道路1・8キロを予定しています。

ほかの地区については、各小学校や育成会などと協議して、効果の上がる設置を考えていま

す。

防犯灯については、今年度リース方式によるLED化を実施します。でも、もう少し配置を効率的にしたり、増設の希望も必要などところは対処していきたいと思います。

どのように答えるのか 地域公共交通

議員 地域公共交通を望む声は相変わらず聞かれます。

町長は、福祉タクシーなどの推移を見てほしいと言われましたが、該当しない方からは要望の声があります。町では福祉タクシー以外は検討しないのか伺います。

もう少し研究

させてほしい

町長 高齢化社会に向き合っていく中で、必要性は感じていますが、よい解決策が出てこないのが現状です。今後、もう少し研究をさせて下さい。



条例の改正及び補正予算に 対する質疑・応答について

白子町付属機関条例の一部を改正する条例の制定について

議案第1号

【市川隆子 議員】

議員 新システムに基づいた条例の改正だと思いますが、内容を伺います。

また、新システムの問題は保育に対する国と自治体の責任の後退だと思っています。町長は以前保育の民営化はしないと答弁していましたが今も同じ考えか伺います。

住民課長 会議のメンバーは、子どもの保護者、児童福祉の関係者、学校教育の関係者、学識経験者等で10名を予定しています。この条例制定後に規則を設け、会議を開催する予定です。

町長 子育て支援は、少子化の問題もあり、なかなか成果に結びつかないところもありますが、子育て支援については公がやるべきだという考えに変わりありません。

地方は地方なりに、そのよさを生かしていきたいと思っています。

平成25年度白子町一般会計 歳入歳出補正予算について

議案第6号

【東海林東治 議員】

議員 街路灯建設事業補助金についてこの金額は行政が商工会に負担金として補助をしているのか。又、電気代は各設置自治会で費用を払っているのか伺います。

商工観光課長 今回の街路灯建設事業補助金は、電気料の維持管理費の補助金とは別です。

白子町街路灯施設管理組合の所有する街路灯をLED化するための補助金であります。

議員 避難誘導LED街路灯設置工事費について伺います。

今後、実施される街路灯LEDのリース管理に含めることは出来ないか。

総務課長 本事業は、防犯灯と違い避難誘導用の街路灯です。

内容的には太陽光パネル、蓄電施設、LED照明を使用し、千葉県

害対策の施設に対する補助を利用し設置いたします。



【大和秀一 議員】

議員 次世代育成支援地域行動計画策定事業について、この内容で茂原市・長生村を除いた5町で取り組み理由について伺います。

住民課長 以前は次世代育成事業という名称で行なっていました。国の子育て支援の法律により新たに実施するものです。

内容はアンケート調査が主となりますが、この計画を策定する事により一時預かり保育や学童保育、病児病後保育などに国から補助金が交付されるようになります。

茂原市・長生村については、それぞれ独自での取り組みを希望しております。

5町での作成となったものです。

【市川隆子 議員】

議員 農産物直売所整備事業補助金の内容について伺います。

産業課長 農事組合法人長生産直が新たに建設する直売所に助成するもので、建設費の2分の1を計上しています。

場所は、直売所ひまわり南側の畑部分を予定しています。

議員 構想としては、手作り品を加えるのではなく野菜中心となるのか。

町長 以前から議論していたものがまとまり、大規模なものをつくって、今のメンバーの他に極力町民の参加を募ります。

それにより生産の拡大を図る目的もあります。中心は農産物になると思いますが、他に町内の農産物等の加工品も入ることになります。



議会行政視察研修報告

宮城県山元町（東日本大震災からの復興状況について）
宮城県富谷町（学校給食の食物アレルギー対策について）



山元町の研修

10月21日・22日、議員11名、町当局より町長・議会事務局2名の合計14名で宮城県山元町と富谷町の視察を行いました。初日の山元町は宮城県の南に位置し東西5km、南北11km、東に白砂青松の海岸線、西に阿武隈山地があり、人口は1万3千6百人と我が町と同程度であります。

先の東日本大震災で震度6強、海岸線の津波高は12mと死者634人、家屋の被害は全壊が2千2百戸、流失がその半分という甚大な被害を受けた町です。

我が町と山元町の間隔は震災後、平成23年5月から9月期において、町職員73名が災害派遣事業で訪れ、写真の洗浄・整理、遺留品の選別、側溝清掃、農場においては苺苗ポットの洗浄等の手伝いを行いました。又、震災地支援派遣として町職員1名が本年4月より1年間山元町の教育委員会学務課に勤務しています。

今回は、震災後の我が町の防災事業の参考にすべく山元町の当時の様子、更にその後の復興状況について視察しました。



建設が進む町営住宅

山元町においては明治、昭和の三陸大地震で津波が2・3mと海岸平野の被害は少ないとの通信から、今回の多大な犠牲が発生したとの反省でした。

現在、震災前より10倍以上になった復興予算を元に長期展望の中、鉄道の移設に伴う住宅の再編、苺栽培を中心とした農業の再生を進めておりました。

震災時海岸に近い2階まで海水に浸かった中浜小学校の屋上からの風景は、今だ遠い北国の春を感じました。

翌22日は、宮城県の中央に位置し仙台市の中核にある富谷町を視察しました。富谷町は国道4号線と東北自動車道が通り仙台市の中心部まで18kmと地理的に恵まれ、年平均気温は12℃、四季を通じて比較的過ごしやすい環境の中で、大規模な住宅団地の開発に伴い50年間で人口が10倍の5万人を超え、平成28年の市制移行へ向け、全住民の平均年齢39・2歳という若い伸び盛りの町で給食アレルギー対策の先進地として視察しました。

我が町においては、給食センターの建設・運営のあり方が検討されており、食物アレルギー対策と合わせて町給食センターのこれからの参考として伺いました。

富谷町の給食センターは、日量7千食が可能な



調理現場

施設で、極め細かな食物アレルギーにも対応する構造となっています。

食物アレルギーについては、保護者・学校・給食センターの3者で面談し、別献立、代替食にて行っているとのことでした。

（議会においては）2日間の視察を通して、災害対策、食育等、町政の発展に寄与できるよう議会活動に精進してまいります。

こんなことが
決まりました
定例会(第3回)
議案の内容

発議案

◆白子町議会委員会条例の一部を改正する条例
(可決)

【内容】白子町議会の委員会条例中、3 常任委員会委員の定数を次のとおり、すべて各 8 人に改正し、複数所属制度を可能にした条例の一部改正であり全員賛成で可決されました。

総務常任委員会 8 人(5 人)
厚生文教常任委員会 8 人(5 人)
産業建設常任委員会 8 人(4 人)

カッコ内は改正前です。

施行期日は、平成 25 年 12 月 1 日からとする。

条例の改正補正等

◆白子町付属機関条例の一部改正(可決)

【内容】子ども・子育て支援法の施行に伴い「白子町子ども・子育て会議」を設置する為の一部改正

◆白子町税条例の一部改正(可決)

【内容】地方税法の一部改正に伴う株式譲渡所得と公的年金からの特別徴収算定方法関係の見直し

◆白子町国民健康保険税条例の一部改正(可決)

【内容】前記同、株式譲渡所得関係に伴う見直し

◆白子町後期高齢者医療に関する条例の一部改正(可決)

平成 24 年度一般会計外 五特別会計歳入歳出決算認定については、決算審査特別委員会を設置し、閉会中の継続審査に付することに決まりました。

◎委員の構成は次のとおりです。

決算審査特別委員会設置

決算審査特別委員会

委員長	大多和 正之
副委員長	酒井 良信
委員	大多和 秀一
委員	齊藤 豊彦
委員	梅澤 哲夫
委員	東海林 東治
委員	宗島 理仁

◆白子町介護保険条例の一部改正(可決)

【内容】後期高齢者医療・介護保険の両条例は、地方税法の改正に伴う延滞金の見直し

※尚、詳細及び一般会計(72,049 千円)・国民健康保険会計(1,625 千円)介護保険会計(14,210 千円)ガス事業会計の補正予算については、白子広報 10 月号をご覧ください。

町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は12月12日の予定です。

詳しいことは議会事務局へ。TEL 33-2169/FAX 33-4132
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

編集後記

暑く長い夏も過ぎあわただしく秋めいてまいりました。

国においては 20 年に一度の伊勢神宮の式年遷宮が行なわれ、我が町においては、白子神社の例祭があり日々の幸と自然の恵みに感謝の祭事が行われました。

東日本大震災の傷跡の残る宮城県山元町の現況を見た中、自然界の恐ろしさをまざまざと見せつけられました。古来より人々は畏怖の念からの救いとし神仏を崇拝して来ました。又、国民性として物事を決める時、話し合いが主としてあり、それに基づいて行動する習性があるといわれます。今、震災後の国難の中、7 年後開催が決まったオリンピック、来春からの消費税の増額もあり私達は自然を敬い、近代的英知を結集し、逞しさを世界に示さなければと思う。

梅澤 哲夫